```
DIALOG(R) File 351: Derwent WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.
007714869
             **Image available**
WPI Acc No: 1988-348801/ 198849
XRAM Acc No: C88-154204
XRPX Acc No: N88-264185
  Argon laser sensitive photopolymerisable compsn. - contains
  photopolymerisation initiator mixt. of triazine cpd., organo-metallic
  cpd. and e.g. benzopyran deriv.
Patent Assignee: FUJI PHOTO FILM CO LTD (FUJF )
Number of Countries: 001 Number of Patents: 002
Patent Family:
Patent No
              Kind
                     Date
                             Applicat No
                                            Kind
                                                   Date
JP 63258903
                   19881026
               Α
                             JP 8793497
                                             Α
                                                 19870416
JP 94099497
                  19941207
               B2
                             JP 8793497
                                             Α
                                                 19870416
Priority Applications (No Type Date): JP 8793497 A 19870416
Patent Details:
Patent No Kind Lan Pq
                         Main IPC
                                     Filing Notes
JP 63258903
              Α
                    32
JP 94099497
              B2
                    42 C08F-002/50
                                     Based on patent JP 63258903
Abstract (Basic): JP 63258903 A
        Photopolymerisable compsn. comprises (A) cpds. contq. ethylenically
    unsatd. bonds and (B) photopolymerisation initiators consiting of cpds.
    of formula, (a), (b) and (c). R1-R4 are alkyl, aryl, alkoxyl, amino,
    their substd. gps. halogen, OH or H; R1 and R4 may be coupled to form
    rings; R6 is R9 or -ZR; Z is CO, SO2, SO or arylene dicarbonyl; R5 and
    R9 are alkyl, aryl, heteroaromatic gps. alkoxyl, alkenyl, their substd.
    gps., cyano, C00H or H; R5 and R6 may be coupled to form rings; X is O,
    S, NH or N bonded with substd. gps.; Y is 0 or -C(G2)G1; G1 and G2 are
    alkoxycarbonyl, aryloxycarbonyl, acyl, arylcarbonyl, their substd.
    gps., cyano, alkylthio, arylthio, alkylsulphonyl, arylsulphonyl,
    fluorosulphonyl or H,G1 and G2 may be coupled to form rings; X,Y and Z
    are alkyl, aryl, their substd. gps. or aralkyl, and at least one of
    them is halogen-substd. methyl; m and n are 1 or 2; R7 is pi-allene; R8
    is pi-allene or pi-allene-anion; M is e.g. Ti, Cr, Co, Mn, W, Fe, Mo,
    S, Se, etc; Y is BF4(-), PF6(-), AsF6(-), SnCl6(-), etc..
        USE/ADVANTAGE - Photosensitive compsns. are useful for
    photosensitive layers on a printing materials. The compsns. are
    sensitive to argon laser beams.
        0/0
Title Terms: ARGON; LASER; SENSITIVE; PHOTOPOLYMERISE; COMPOSITION; CONTAIN
  ; PHOTOPOLYMERISE; INITIATE; MIXTURE; TRIAZINE; COMPOUND; ORGANO;
*METALLIC; COMPOUND; BENZOPYRAN; DERIVATIVE
Index Terms/Additional Words: PRINT; PHOTOSENSITISER
Derwent Class: A89; E19; G06; P83; P84; T04
International Patent Class (Main): C08F-002/50
International Patent Class (Additional): G03C-001/68; G03F-007/028;
  G03F-007/029
File Segment: CPI; EPI; EngPI
Manual Codes (CPI/A-N): A02-A09; A08-C01; A12-L02B1; A12-W07B; A12-W07C;
  E05-G; E05-H; E05-J; E05-K; E05-L; E05-M; E06-H; E07-D13B; E07-H; E10-A01
  ; G05-A; G06-D05; G06-F03D
Manual Codes (EPI/S-X): T04-G04
Plasdoc Codes (KS): 0034 0035 0036 0037 0204 0206 0211 0224 0072 0073 0090
  0091 0093 0094 0096 0097 0099 0100 0105 0106 0114 0115 0150 0151 0156
  0157 0159 0160 0162 0163 0165 0166 0168 0169 0171 0172 0227 0228 3152
  0418 1151 1239 2016 2020 2066 2068 2194 2198 2286 2296 2297 2298 2300
  2301 2318 2427 2439 2493 2507 2728 2805 2813
Polymer Fragment Codes (PF):
  *001* 014 02- 03& 034 07& 07- 074 075 077 08& 09& 10- 130 135 137 15& 15-
        163 17& 18& 18- 19& 19- 20& 20- 228 231 27& 273 277 294 316 332 335
       341 353 359 398 42- 431 44& 47& 473 477 48- 524 546 59& 658 659 660
        681 691 721
Chemical Fragment Codes (M3):
```

01 C009 C216 C316 D012 D013 D014 D015 D021 D022 D023 D024 D025 D040 D120 D199 D220 D230 D320 D510 D599 D622 D711 D799 E330 E540 E600

```
E699 E810 E870 E880 F011 F012 F013 F014 F015 F016 F020 F111 F211
       F431 F433 F512 F543 F580 F620 F653 G001 G002 G010 G011 G012 G013
       G019 G020 G021 G022 G023 G029 G040 G100 G111 G112 G113 G212 G221
       H100 H101 H102 H103 H121 H122 H123 H141 H142 H143 H181 H201 H202
       H203 H211 H212 H401 H402 H403 H404 H441 H442 H443 H444 H521 H522
       H541 H542 H543 H594 H598 H599 H600 H601 H602 H603 H608 H609 H621
       H622 H623 H641 H642 H643 H681 H684 H686 H689 H720 H721 H731 J011
       J012 J013 J014 J111 J112 J131 J132 J171 J172 J211 J231 J232 J241
       J242 J271 J272 J273 J521 J522 J523 J562 J581 J582 J583 J592 J599
       K121 K199 K431 K442 K499 L142 L145 L199 L462 L499 L660 L721 L910
       L999 M112 M113 M114 M115 M116 M119 M121 M122 M123 M124 M125 M126
       M129 M131 M132 M133 M135 M139 M142 M143 M149 M210 M211 M212 M213
       M214 M215 M216 M220 M221 M222 M223 M224 M225 M226 M231 M232 M233
       M240 M262 M271 M272 M273 M280 M281 M282 M283 M311 M312 M313 M314
       M315 M316 M320 M321 M322 M323 M331 M332 M333 M341 M342 M343 M344
       M353 M371 M372 M373 M381 M412 M413 M510 M511 M512 M520 M521 M522
       M523 M530 M531 M532 M533 M540 M640 M782 M903 Q121 Q345 R043 00212
       02712 02969 02987 03116 04514 13315 41618 41619 66271 66272 66273
       66310
  *02* A351 A383 A422 A424 A425 A426 A427 A542 A674 A923 A940 A980 B205
       B215 B515 B533 B534 B552 B634 B720 B744 B752 B805 B814 C009 C017
       C053 C100 C107 C116 C600 C720 C800 C801 C803 C804 C805 C806 C807
       D011 D400 E111 F011 F213 F431 G000 G010 G013 G015 G019 G020 G021
       G100 G221 G310 H141 H201 H341 H402 H442 H541 H603 H641 J011 J271
       J581 L721 L722 L730 M111 M121 M122 M129 M142 M144 M149 M210 M211
      M212 M250 M271 M272 M273 M280 M281 M282 M311 M320 M321 M342 M361
      M381 M391 M411 M510 M511 M520 M521 M530 M531 M532 M533 M540 M640
      M782 M903 Q121 Q345 R043 00212 02712 02969 02987 03116 04514 13315
       41618 41619 66271 66272 66273 66310 00152 02844
Ring Index Numbers: 00212; 02712; 02969; 02987; 03116; 04514; 13315; 41618;
  41619; 66271; 66272; 66273; 66310; 00152; 02844
Derwent Registry Numbers: 0437-U
```

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-258903

(S) Int. Cl. 4 C 08 F 2/50

識別記号 MDN 3.31 庁内整理番号 2102-4J 7267-2H

❸公開 昭和63年(1988)10月26日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全32頁)

9発明の名称 光重合性組成物

②特 願 昭62-93497

20出 願 昭62(1987) 4月16日

⑦発 明 者 小 池 充 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地 富士写真フィルム株式 会社内 ②発 明 者 川 村 浩 一 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地 富士写真フィルノ株式

¹ 切 者 川 村 浩 一 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地 富士写真フィルム株式 会社内

⑫発 明 者 安 陪 幸 雄 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地 富士写真フィルム株式 会社内

⑫発 明 者 喜 多 信 行 静岡県榛原郡吉田町川尻4000番地 富士写真フィルム株式 会社内

⑪出 願 人 富士写真フィルム株式 神奈川県南足柄市中沼210番地

会社

邳代 理 人 弁理士中村 稔 外5名

明和音

- 1. 発明の名称 光重合性組成物
- 2. 特許請求の範囲
- (1) エチレン性不飽和二重結合を少なくとも1個有する付加重合可能な化合物と光重合開始剤と、必要に応じて線状有機高分子重合体とを含む光重合性組成物において、該光重合開始剤が少なくとも下記の(イ)、(ロ)及び(ハ)の化合物の組合せであることを特徴とする光重合性組成物。

(イ) 一般式(1) の化合物

(ただし式中R, ~R, はお互いに独立して、 水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、置換 アルキル基、アリール基、置換アリール基、 水酸基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、 アミノ基、置換アミノ基を表す。また、R。 ~R。はそれが結合できる炭素原子と共に非 金属原子から成る環を形成していても良い。

であり、G」、G』は同一でも異なっていて も良く、水素原子、シアノ基、アルコキシカ ルポニル甚、置換アルコキシカルポニル基、

特開昭63~258903 (2)

アリールオキシカルボニル基、置換アリールオキシカルボニル基、アシル基、置換アシル基、 置換アリールカルボニル基、 アリールチオ基、 アリールチオ基、 アルキルスルホニル基、 アリールスルホニル基、 フルオロスルホニル基を表す。 但し G : と G : は共に水素原子ではない。 又 G : は それが形成できる炭素原子と共に非金属原子から成る環を形成していても良い。) 一般式 (II) で表わされる 2 . 4 . 6 ー

置換-1、3、5-トリアジン化合物

(ただし、式中、X、Yおよび2はそれぞれ アルキル基、置換アルキル基、アリール基、 置換アリール基、アラルキル基をあらわし、 互いに同一でも異なってもよいが、それらの

くとも下記の(イ)、(ロ)及び(二)の化合物の組合せであることを特徴とする光重合性組成物。

(イ) 一般式(1) の化合物・

(ただし式中R」~R。はお互いに独立して、 水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、置換 アルキル基、アリール基、置換アリール基、 水酸基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、 アミノ基、置換アミノ基を表す。また、R」 ~R。はそれが結合できる炭素原子と共に非 金属原子から成る環を形成していても良い。

R。はR,又はーZーR,であり、2はカルボニル基、スルホニル基、スルホニル基、スルフィニル基、 又はアリーレンジカルボニル基を表し、R。、 うちの少なくとも1つはモノー、ジー又はト リハロゲン置換メチル基を表わす。)

または有機過酸化物

(ハ) 一般式 (Ⅲ):

 $(R^*)(R^*U) - Y_* - V$ (II)

(ただし、式中、mおよびnは1または2の整数、 R° は π -Tレーン、 R° は π -Tレーンは Λ は π - Λ に Λ

(2) エチレン性不飽和二重結合を少なくとも1個 有する付加重合可能な化合物と光重合開始剤と、 必要に応じて線状有機高分子重合体とを含む光 重合性組成物において、該光重合開始剤が少な

R・は互いに独立して、水素原子、アルキル基、医換アルキル基、アリール基、置換不テロ芳香族基、置換へテロ芳香族基、置換でアルコキシ基、アルカニル基、置換アルボキシ基、アルケニル基を表す。またRs、Rsは共によいな、S、NH、又は置換基を有する窒素原子を表す。Yは、酸素原子、又は一CーG」で

特開昭63-258903 (3)

G。はそれが形成できる炭素原子と共に非金 属原子がら成る環を形成していても良い。) (ロ) 下記一般式 (II) で表わされる 2. 4. 6 - 置換 - 1. 3. 5 - トリアジン化合物

(ただし、式中、X、Yおよび2はそれぞれアルキル基、置換アルキル基、アリール基、 置換アリール基、アラルキル基をあらわし、 互いに同一でも異なってもよいが、それらの うちの少なくとも1つはモノー、ジー又はト リハロゲン置換メチル基を表わす。)

(二) 一般式 (IV) のモルフォリノ化合物

〔ただし、式中、Ar は下記の一般式の一つ

の少なくとも一つはーS-R11基、 ーSO-R11基又は-SO2R11基を表し、 R11はアルキル基、アルケニル基、R10は水 素原子、アルキル基、アシル基を表す。Y1

は水素原子又は一〇一〇一〇 を表す。)〕

から選ばれた芳香族基を表し、Rio、Riiは水素原子又はアルキル基を表し、又、RioとRiiは互いに結合してアルキレン基を表しても良い。)

一般式:

$$R_1$$
, R_1 , R_2 , R_3 , R_4 ,

・ (ただし式中、R₁2~R₁4は互いに独立して 水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アル ケニル基、アリール基、置換アリール基、水 酸基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、

- S R 17基、 S O R 17基又は
- SO₂ R₁₇ 基を表すが、但しR₁₂~ R₁₄ 基

3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本発明は光重合性組成物に関する。さらに詳しくは、エチレン性不飽和結合を有する重合可能な 化合物と新規な組成の光重合開始剤と、必要に応 じて線状有機高分子重合体とを含有する光重合性 組成物に関し、たとえば、アルゴンレーザー光源 に対しても感応しうる感光性印刷版の感光層等に 有用な光重合性組成物に関するものである。

「従来の技術」

エチレン性不飽和結合を有する重合可能な化合物と光重合開始剤と更に必要に応じて適当な皮膜形成能を有する結合剤、熱重合禁止剤を混和させた感光性組成物を用いて、写真的手法により画像の複製を行なう方法は、現在知られるところである。すなわち、米国特許2、927、022号、同2、902、356号あるいは同3、870、524号に記載されているように、この種の感光性組成物は光照射により光重合を起こし、硬化し不溶化す

ることから、該感光性組成物を適当な皮膜となし、

特開昭63-258903 (4)

所望の画像の陰画を通して光照射を行ない、適当な溶媒により未露光部のみを除去する (以下、単に現像と呼ぶ) ことにより所望の光重合性組成物の硬化画像を形成させることができる。このタイプの感光性組成物は印刷版等を作成するために使用されるものとして極めて有用であることは論をまたない。

ミノベンジリデンケトンの系(特開昭47-2528、特開昭5 4-1 5 5 2 9 2)、3-ケト置換クマリン化合物と活性ハロゲン化合物の系(特開昭5 8-1 5 5 0 3)、置換トリアジンとメロシアニン色素の系(特開昭54-1 5 1 0 2 4)などの提案がなされて来た。これらの技術は確かに可視光線に対して有効ではある。しかし、未だその感光速度は充分満足すべきものではなく、さらに改良技術が望まれていた。

また、近年、紫外線に対する高感度化や、レーザーを用いて面像を形成する方法が検討され、印刷版作成におけるUVプロジェクション露光法、レーザー直接製版、レーザーファクシミリ、ホログラフィー等が既に実用の段階にあり、これらに対応する高感度な感光材料が開発されているところである。しかし未だ十分な感度を有しているとは言えない。

「発明が解決しようとする問題点」

本発明は、高感度の光重合性組成物を提供する ことである。 ルギー放射量を増大しなければならないためにそれに伴なう多大な発熱の放散を考慮する必要があった。加えて熱による組成物の皮膜の変形および 変質も生じ易い等の問題があった。

また、これらの光重合開始剤は400m以下の 紫外領域の光源に対する光重合能力に比較し、 400m以上の可視光線領域の光源に対する光重 合能力は顕著に低い。従って、従来の光重合開始 剤を含む光重合性組成物は、応用範囲が著しく限 定されていた。

可視光線に感応する光重合系に関して従来いくつかの提案がなされて来た。かかる提案として、米国特許第2850445号によればある種の光 選元性染料、例えば、ローズペンガル、エオシン、エリスロシン等が効果的な可視光感応性を有していると報告されている。また改良技術として、染料とアミンの複合開始系(特公昭44-20189)、ヘキサアリールビイミダゾールとラジカル発生剤 および染料の系(特公昭45-37377)、ヘキサアリールビイミダゾールとPージアルキルア

すなわち、本発明の目的は、広く一般にエチレン性不飽和結合を有する重合可能な化合物を含む 光重合性組成物の光重合速度を増大させる光重合 開始剤を含んだ光重合性組成物を提供することで ある。

また本発明の他の目的は、400nm以上の可視 光線、特にAr*レーザーの出力に対応する488 nm付近の光に対しても感度の高い光重合開始剤を 含んだ光重合性組成物を提供することにある。

「問題点を解決するための手段」

本発明者は、上記目的を達成すべく鋭度研究を 重ねた結果、ある特定の光重合開始剤系がェチレン性不飽和結合を有する重合可能な化合物の光重 合速度を著しく増大させ、また400nm以上の可 視光線に対しても高感度を示すことを見出し、本 発明に到達したものである。

すなわち、本発明はエチレン性不飽和二重結合 を少なくとも1個有する付加重合可能な化合物と 光重合開始剤と、必要に応じて線状有機高分子重 合体とを含む光重合性組成物において、該光重合

特開昭63-258903 (5)

開始剤が少なくとも下記の(イ)、(ロ)及び (ハ)の化合物の組合せであることを特徴とする 光重合性組成物に関する。

(イ) 一般式(【)の化合物

$$\begin{array}{c} R_3 \\ R_2 \\ R_1 \end{array}$$

(ただし式中R」~R。はお互いに独立して、 水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、置換ア ルキル基、アリール基、置換アリール基、水酸 基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、アミノ 基、置換アミノ基を表す。また、R」~R。は それが結合できる炭素原子と共に非金属原子か ら成る環を形成していても良い。

R。はR、又はー2-R、であり、Zはカルボニル基、スルホニル基、スルフィニル基、又はTリーレンジカルボニル基を表し、R。、R、

(ただし、式中、X、Yおよび2はそれぞれアルキル基、置換アルキル基、アリール基、置換アリール基、アラルキル基をあらわし、互いに同一でも異なってもよいが、それらのうちの少なくとも1つはモノー、ジー又はトリハロゲン置換メチル基を表わす。)

または有傚過酸化物

(ハ) 一般式 (皿):

(ただし、式中、mおよびnは1または2の 整数、R* はπーアレーン、R* はπーアレ は互いに独立して、水素原子、アルキル基、置換アルキル基、アリール基、置換アリール基、 ヘチロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、シアノ 基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、カルボ キシ基、アルケニル基、置換アルケニル基を表 す。またR。:R。は共に非金属原子から成る 環を形成しも良い。XはO、S、NH、又は置 換点を有する窒素原子を表す。Yは、酸素原子、 又は-C-G」であり、G」、G2は同一でも G2

異なっていても良く、水素原子、シアノ基、アルコキシカルボニル基、置換アルコキシカルボニル基、置換アリールオキシカルボニル基、置換アリールオニル基、アリールカルボニル基、アリールオールボニル基、アルキルスルホニル基、アリールスルホニル基、アルキルスルホニル基を表す。但して、C・はそれが形成できる炭素原子と共に非金属ア

ーンまたはπーアレーン陰イオン、MはTi、Cr、Co、Mn、W、Fe、Mo、S、Se、Te、N、P、As、BiおよびSbから選ばれる陽イオン、YはBF。、PF。、AsF。、SbF。、FeCℓ。、SnCℓ。、SbCℓ およびBiCℓ。から選ばれる陰イオンを表わす。)

で表わされる化合物、芳香族オニウム塩および 芳香族ハロニウム塩から選ばれる少なくとも一 種の化合物。

また 本発明はエチレン性不飽和二重結合を少なくとも1個有する付加重合可能な化合物と光重合開始剤と、必要に応じて線状有機高分子重合体とを含む光重合性組成物において、該光重合開始剤が少なくとも下記の(イ)、(ロ)及び(二)の化合物の組合せであることを特徴とする光重合性組成物に関する。

特開昭63-258903 (6)

(イ) 一般式(1) の化合物

(ただし式中R」~R、はお互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、置換アルキル基、アリール基、置換アリール基、水酸基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、アミノ基、置換アミノ基を表す。また、R」~R、はそれが結合できる炭素原子と共に非金属原子から成る環を形成していても良い。

R。はR、又は-2-R、であり、2はカルボニル基、スルホニル基、スルフィニル基、又はアリーレンジカルボニル基を表し、R。、R、は互いに独立して、水素原子、アルキル基、置換アルキル基、アリール基、置換アリール基、へテロ芳香族基、置換ヘテロ芳香族基、シアノ

(ただし、式中、X、Yおよび Z はそれぞれ アルキル基、置換アルキル基、アリール基、置換アルキル基をあらわし、互い に同一でも異なってもよいが、それらのうちの 少なくとも 1 つはモノー、ジー又はトリハロゲン置換メチル基を表わす。)

(二) 一般式 (IV) のモルフォリノ化合物

(ただし、式中、Ar は下記の一般式の一つから遅ばれた芳香族基を表し、Rio、Riiは水 素原子又はアルキル基を表し、又、RioとRii は互いに結合してアルキレン基を表しても良い。) 基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、カルポキシ基、アルケニル基、置換アルケニル基を表す。またR。、R。は共に非金属原子から成る 環を形成しても良い。XはO、S、NH、又は 置換基を有する窒素原子を表す。Yは、酸米原子、又は-C-G,であり、G,、G。は同-G。

一般式:

(ただし式中、R12~R16は互いに独立して水楽原子、ハロゲン原子、アルキル基、アルケニル基、アリール基、置換アリール基、水酸基、アルコキシ基、置換アルコキシ基、一S-R17基、一SO-R17基又は一SO2R17基を表すが、但しR12~R16基の少なくとも一つは一S-R17基、-SO-R17基又は ーSO2R17基を変し、R17はアルキル基、アルケニル基、R10は水楽原子、アルキル基、ア

特開昭63-258903 (フ)

シル基を表す。Y、は水素原子又は

以下、本発明について詳細に説明する。

本発明に使用するエチレン性不飽和結合を有する ま合可能な化合物とは、その化学構造中に化合物とは、その化学構造中で化合物である。例えばモノマー、ブレポリマー、はそなわち2量体、3量体およびオリゴマー、又はそないの共重合体ならのにそれらの共重合体などである。モノマーおよびなその形態をもつものである。モノマーおよびがよいである。本人ではいいばいるのである。をいるでは、不飽和カルボン酸脂肪族多価でいる。といる物とのアミド等があげられる。

不飽和カルポン酸のモノマーの具体例としては、 アクリル酸、メタクリル酸、イタコン酸、クロト ン酸、イソクロトン酸、マレイン酸などがある。

ジベンタエリスリトールテトラアクリレート、ジベンタエリスリトールへキサアクリレート、ソルビトールテトラアクリレート、ソルビトールデトラアクリレート、ソルビトールへキサアクリレート、トリ (アクリイロイルオキシエチル) イソシアヌレート、ポリエステルアクリレートオリゴマー等がある。

メタクリル酸エステルとしては、テトラメチレングリコールジメタクリレート、トリエチ グリコールジメタクリレート、ネオペンチープロート、トリメチロールエタクリレート、トリメチロールジメタクリレート、エチレングオールジメタクリレート、ペンタエリスリートリンタクリレート、ジペンタエリストールにメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリメタクリレート、ソルビトールトリスククリレート、ソルビトールトリスクリ

不飽和カルボン酸の塩としては、前述の酸のナ. トリウム塩およびカリウム塩などがある。

また、脂肪族多価アルコール化合物と不飽和カ ルポン酸とのエステルのモノマーの具体例として は、アクリル酸エステルとして、エチレングリコ ールジアクリレート、トリエチレングリコールジ アクリレート、1、3ープタンジオールジアクリ. レート、テトラメチレングリコールジアクリレー ト、プロピレングリコールジアクリレート、ネオ ベンチルグリコールジアクリレート、トリメチロ ールプロパントリアクリレート、トリメチロール プロパントリ (アクリロイルオキシプロピル) エ ーテル、トリメチロールエタントリアクリレート、 ヘキサンジオールジアクリレート、1. 4ーシク ロヘキサンジオールジアクリレート、テトラエチ レングリコールジアクリレート、ペンタエリスリ トールジアクリレート、ペンタェリスリトールト リアクリレート、ペンタエリスリトールテトラア クリレート、ジペンタエリスリトールジアクリレ ート、ジベンタエリスリトールトリアクリレート、

レート、ソルピトールテトラメタクリレート、ピスー (p- (3-メタクリルオキシー2-ヒドロキシプロポキシ) フェニル] ジメチルメタン、ピスー (p- (アクリルオキシエトキシ) フェニル] ジメチルメタン等がある。

イタコン酸エステルとしては、エチレングリコールジイタコネート、プロピレングリコールジイタコネート、1.3ーブタンジオールジイタコネート、1.4ーブタンジオールジイタコネート、ペンタエリスリトールジイタコネート、ソルビトールテトライタコネート等がある。

クロトン酸エステルとしては、エチレングリコールジクロトネート、テトラメチレングリコールジクロトネート、ペンタエリスリトールジクロトネート等がある。

イソクロトン酸エステルとしては、エチレング リコールジイソクロトネート、ペンタエリスリト ールジイソクロトネート、ソルピトールテトライ

特開昭63-258903(8)

ソクロトネート等がある。

マレイン酸エステルとしては、エチレングリコールジマレート、トリエチレングリコールジマレート、ハリエチレングリコールジマレート、ソルピトールテトラマレート等がある。

さらに、前述のエステルモノマーの混合物もあ げることができる。

・また、脂肪族多価アミン化合物と不飽和カルポン酸とのアミドのモノマーの具体例としては、メチレンピスーアクリルアミド、メチレンピスーメタクリルアミド、1、6ーヘキサメチレンピスーアクリルアミド、ジェチレントリアミントリスアクリルアミド、キシリレンピスアクリルアミド、キシリレンピスメタクリルアミド等がある。

その他の例としては、特公昭48-41708 号公報中に記載されている1分子に2個以上のイソシアネート基を有するポリイソシアネート化合物に、下記の一般式(A)で示される水酸基を含有するビニルモノマーを付加せしめた1分子中に

$$\begin{array}{c}
R_{3} \\
R_{3}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c}
R_{4} \\
R_{5}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c}
R_{5} \\
\end{array}$$

$$\begin{array}{c}
R_{5} \\
\end{array}$$

$$\begin{array}{c}
R_{5} \\
\end{array}$$

で表わされる化合物においてR, ~R。及びR, のアルキル基としてはメチル、エチル、tーブチル等炭素数1~20個までのものを使用でき、アリール基としてはフェニル等炭素数1~10個までのものを用いることができる。アルコキシ基としてはメトキシ、エトキシ、ブトキシ等炭素数1~6個までのものを使用できる。

また R: ~R. の置換 アミノ基としては、メチルアミノ、ジメチルアミノ、ジェチルアミノ、ジ フェニルアミノ、ピペリジノ、モルホリノ等炭素数 1~20個を有するアルキルアミノ、アリールアミノ基を用いることができる。

これらのアルキル基、アリール基、アルコキシ

2個以上の重合性ピニル基を含有するピニルウレ タン化合物等があげられる。

$$CH_2 = C(R)COOCH_2CH (R')OH$$
 (A)

(ただし、RおよびR ' はHあるいはCH。を . 示す。)

また、特別昭 5 1 - 3 7 1 9 3 号に記載されているようなウレタンアクリレート類、特別昭 4 8 - 6 4 1 8 3 号、特公昭 4 9 - 4 3 1 9 1 号、特公昭 5 2 - 3 0 4 9 0 号各公報に記載されているようなポリエステルアクリレート類、エポキシと間とは、メタ)アクリル酸を反応させたエポキシを協ったいかできる。なができる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないできる。ないの使用量は、全成分に対して 5 ~ 5 0 重量%である。

次に本発明の光重合性組成物において著しい特

基、アルキルアミノ基、アリールアミノ基は置換基を有していても良く、例えば、フッ素、塩素、臭素等のハロゲン原子、エトキシカルボニル基等のアルコキシカルボニル基、メトキシ、エトキシ等のアルコキシ基、フェニル等のアリール基、シアノ基等がある。R₁~R₄がそれと結合せる炭素原子と共に非金属原子から成る環を形成する場合、環を含む構造としては下記(A)(B)(C)に示すものが挙げられる。

特開昭63-258903(9)

Rs、Rnのアルケニル基としては、スチリル基等炭素数2~10個のものを、ヘテロ芳香族基の場合下記(D)~(H)に示すものを用いることができる。

これらのヘテロ芳香族基も置換基を有しても良い。置換基としては、フッ素、塩素、臭素等のハロゲン原子、ジメチルアミノ、ジエチルアミノ、ジフェニルアミノ等の炭素数 1~20個のアルキルアミノ基、アリールアミノ基、炭素数 1~20個のアルキル基、炭素数 1~6個のアルコキシ基等がある。またRs、Rsは共にそれと結合でしても炭素原子と共に環を形成しても良い。例としては下記(J)に示される構造が挙げられる。

$$\mathbb{R}$$
, \mathbb{R} , \mathbb{R} , \mathbb{R}

Xが置換基を有する窒素の場合、置換基としては、R₁ ~ R₅ 及びR₁ で挙げたアルキル基、アリール基と同義のものを用いることができる。

Yid,
$$O$$
 at t is t .

は同一又は異なる水素原子、シアノ基、エトキシカルボニル基等の炭素数 1~10個のアルキル基を有するアルコキシカルボニル基、フェノキシカルボニル基等炭素数 6~10個のアリール基を有するアリールオキシカルボニル基、アセチル基、プロピオニル基等炭素数 1~6個のアリールカルボニル基、メチルチオ基、エチルチオ基等炭素数 1~6個のアルキルチオ基、フェニルチオ基等炭素

特開昭63-258903 (10)

数6~10個のアリールチオ基、フェニルスルホニル基等の炭素数6~10個のアリールスルホニル基、メチルスルホニル基等の炭素数1~6個のアルキルスルホニル基またはフルオロスルホニル基を表わす。

これらのアルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アシル基、アリールボニル基、アリールチオ基、アリールチオ基、アリールボニルスルホニル基、アルキルスルホニル基は 置換基としては、塩素等のハロゲン原子、炭素数 1~6個のアリール基、カルボキシ基のアルコキシカルボニル基、炭素数 6~10個のアリール基、炭素数 1~6個のアルオキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、アリールオールをの関換基の外にメチル基等の炭素数 1~6個のアルキル基も用いることができる。

また G_1 と G_2 はそれが結合せる炭素原子と共に非金属原子から成る環を形成する場合、環とし

ビツル酸及びその誘導体である。誘導体としては1-メチル、1-エチル等の1-アルキル体、1、3-ジブチル等の1、3-ジアルキル体、1、3-ジブテル等の1、3-ジ(p-クロロフェニル)、1、3-ジ(p-エトキシカルボニルフェニル)等の1、3-ジアリール体、1-エチル-3-フェニル等の1-アルキル-3-アリール体等が挙げられる。

- (f) 2-チオー2, 4-チアゾリジンジオン核、 例えばローダニン及びその誘導体である。誘導 体としては3-エチルローダニン、3-アリル ローダニン等の3-アルキルローダニン、3-フェニルローダニン等の3-アリールローダニン等が挙げられる。
- (3) 2-チオー2、4-オキサゾリジンジオン (2-チオー2、4-(3H、5H) -オキサ ゾールジオン) 核、例えば2-エチルー2-チオー2、4-オキサゾリジンジオンである。
- (h) チアナフテノン核、例えば3(2H)-チァ

ては通常メロシアニン色素で酸性核として用いられるもので以下のものを挙げることができる。

- (a) 1、3ージカルボニル核、例えば1、3ーインダンジオン、1、3ーシクロヘキサンジオン、5、5ージメチルー1、3ーシクロヘキサンジオン、1、3ージオキサンー4、6ージオンである。
- (b) ピラゾリノン核、例えば 3 メチル-1-フェニル-2-ピラゾリン-5-オン、1-フェニル-2-ピラゾリン-5-オン、1-(2-ベンゾチアゾイル) 3-メチル-2-ピラゾリン-5-オンである。
- (c) イソオキサゾリノン核、例えば3-フェニル -2-イソオキサゾリン-5-オン、3-メチル-2-イソオキサゾリン-5-オンである。
- (d) オキシインドール核、例えば1ーアルキルー 2.3-ジヒドロー2ーオキシインドールである。
- (e) 2、4、6-トリケトへキサヒドロピリミジン核、例えばパルピツル酸または2-チオパル

ナフテノンおよび 3 (2 H) ーチアナフテノン ー1. 1 ージオキサイドである。

- (i) 2ーチオー2.5ーチアゾリジンジオン核、 例えば3ーエチルー2ーチオー2.5ーチアゾ リジンジオンである。
- (i) 2、4ーチアゾリジンジオン核、例えば2、 4ーチアゾリジンジオン、3ーエチルー2、4 ーチアゾリジンジオン、3ーフェニルー2、4 ーチアゾリジンジオンである。
- 60 チアゾリジオン核、例えば 4 ーチアゾリジノ ン、 3 ーエチルー 4 ーチアゾリジノンである。
- (1) 4ーチアゾリジノン核、例えば2ーエチルメルカプト-5ーチアゾリン-4ーオン、2ーアルキルフェニルアミノ-5ーチアゾリン-4ーオンである。
- **岬 2ーイミノー2ーオキソゾリンー4ーオン** (凝ヒダントイン) 核である。
- (n) 2、4-イミダゾリジンジオン (ヒダントイン) 核、例えば、2、4-イミダソリジンジオン、3-エチル-2、4-イミダソリジンジオ

特開昭63-258903 (11)

ンである。

- (o) 2ーチオー2、4ーイミダゾリジンジオン (2ーチオヒダントイン) 核、例えば2ーチオー2、4ーイミダゾリジンジオン、3ーエチルー2ーチオー2、4ーイミダゾリジンジオンである。
- (p) 2-イミダゾリン-5-オン核、例として2-n-プロピルーメルカプト-2-イミダゾリン-5-オンである。
- (q) フランー 5 ーオンである。本発明で用いられる一般式(I)で表わされる化合物の具体例を下記に示す。

$$C_2H_3$$

$$C_2H_3$$

$$C_2H_3$$

$$\begin{array}{c|c}
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\
 & & & \\$$

特開昭63-258903 (12)

$$\begin{array}{c} I_{1}C_{2} \\ I_{2}C_{3} \end{array}$$

$$H_{3}C_{2} \longrightarrow N \qquad \qquad CN \qquad (I-13)$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 0 \\ 1$$

$$\begin{array}{c|c} & & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & &$$

特開昭63-258903 (13)

$$\begin{array}{c|c} CF_3 \\ \text{H}_5C_2 \\ \text{N} \end{array}$$

特開昭63-258903 (14)

$$C_{2}H_{5} = 0$$

$$C_{1} = 33$$

$$C_{1} = 33$$

$$\begin{array}{c|c} C_2 \|_{S} \\ C_2 \|_{S} \\ \end{array} = \begin{array}{c|c} C_N \\ \hline \\ 0 \\ \end{array} = \begin{array}{c|c} C_1 \\ \hline \\ 0 \\ \end{array} = \begin{array}{c|c} C_1 \\ \hline \\ 0 \\ \end{array} = \begin{array}{c|c} C_1 \\ \hline \\ 0 \\ \end{array}$$

特開昭63-258903 (15)

本発明で用いられる一般式 ([])

特開昭63-258903 (16)

メチル) - S - トリアジン、2 - (2′, 4′-ジクロルフェニル) -4,6-ピス(トリクロル メチル) ーSートリアジン、2. 4. 6ートリス (トリクロルメチル) -S-トリアジン、2-メ チルー4,6-ピス(トリクロルメチル)-S-トリアジン、2-n-ノニルー4, 6-ピス(ト リクロルメチル) ーS-トリアジン、2- (α, α , β — トリクロルエチル) — 4. δ — ピス(ト リクロルメチル) -S-トリアジン等が挙げられ る。その他、英国特許1388492号明細書記 載の化合物、たとえば、2-スチリルー4、6-ピス (トリクロルメチル) -S-トリアジン、2 ー (pーメチルスチリル) ー 4 。 6 ーピス (ト リ クロルメチル) -S-トリアジン、2- (p-メ トキシスチリル)-4.6-ピス(トリクロルメ チル)-S-トリアジン、2-(p-メトキシス チリル) ー4ーアミノー6ートリクロルメチルー Sートリアジン等、特開昭 5 3 - 1 3 3 4 2 8 号 公報記載の化合物、たとえば、2-(4-メトキ シーナフトー1ーイル)-4.6-ピスートリク

ロルメチルーSートリアジン、2 - (4-エトキシーナフトー1ーイル) - 4.6-ピスートリクロルメチルーSートリアジン、2 - (4-(2-エトキシエチル) ナフトー1ーイル) - 4.6-ピスートリクロルメチルーSートリアジン、2 - (4.7-ジメトキシーナフトー1ーイル) - 4.6-ピス(トリクロルメチル) - Sートリアジン、2 - (アセナフトー5ーイル) - 4.6-ピスートリクロルメチルーSートリアジン等、独国特許3337024号明細書記載の化合物、たとえば

$$C \ell , C \downarrow N \qquad \qquad C II \longrightarrow C II$$

$$CH \longrightarrow CH \longrightarrow CH \longrightarrow CCH$$

$$\begin{array}{c|c} C \ell * C \\ \hline \\ C C \ell * \end{array}$$

$$\begin{array}{c|c} C & \ell & *C & \\ \hline & & \\ & &$$

等やその他

特開昭63-258903 (17)

$$C \ell \circ C$$
 $C H = CH$ $(II - 8)$

等を挙げることができる。

また、エフ、シー、スカエファー (F. C. Schaefer) 等によるジャーナル、オーガニック、ケミストリー (J. Org. Chem.); 29、1527 (1964) 記載の化合物、たとえば2ーメチルー4、6ーピス (トリブロムメチル) ーSートリアジン、2、4、6ートリス (ジブロムメチル) ーSートリアジン、2ーアミノー4ーメチルー6ートリブロムメチルーSートリアジン、2ーメトキシー4ーメチルー6ートリクロルメチルーSートリアジン等を挙げることができる。

さらに特願昭 6 0 - 1 9 8 8 6 8 号明細書記載 の化合物、たとえば

等を挙げることができる。

$$C = C \qquad (\Pi - 9)$$

$$C \not= C \qquad C = C \qquad C : I - 11)$$

また特願昭 6 1 - 1 8 6 2 3 8 、特願昭 6 1 - 2 2 7 4 8 9 号明細書記載の化合物、たとえば

$$\begin{array}{c|c}
C \ell * C & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
N & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
N & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
C & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
C & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 & \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\
0 &$$

である。

この中で、2-フェニルー4.6-ピス(トリクロルメチル)-S-トリアジン、2-(P-アセチルフェニル)-4.6-ピス(トリクロルメチル)-S-トリアジン、2-(P-クロルフェニル)-4.6-ピス(トリクロルメチル)-S-トリアジン、2.4.6-トリス(トリクロルメチル)-S-トリアジンが好ましい。

特開昭63~258903 (18)

本発明に使用される「有機過酸化物」としては 分子中に酸素-酸素結合を1個以上有する有機化 合物のほとんど全てが含まれるが、その例として は、メチルエチルケトンパーオキサイド、シクロ ヘキサノンパーオキサイド、3,3,5ートリメ チルシクロヘキサノンパーオキサイド、メチルシ クロヘキサノンパーオキサイド、アセチルアセト ンパーオキサイド、1, 1-ピス (ターシャリィ プチルパーオキシ)ー3.3.5ートリメチルシ クロヘキサン、1,1ーピス(ターシャリィブチ ルパーオキシ) シクロヘキサン、nープチルー4, 4ーピス(ターシャリィブチルパーオキシ)パレ ラート、2.2ーピス(ターシャリィブチルパー オキシ) ブタン、ターシャリィブチルハイドロバ ーオキサイド、クメンハイドロパーオキサイド、 ジイソプロピルペンゼンハイドロパーオキサイド、 パラメンタンハイドロパーオキサイド、2.5-ジメチルヘキサンー 2. 5ージハイドロパーオキ サイド、1、1、3、3ーテトラメチルブチルハ イドロパーオキサイド、ジターシャリィブチルパ

ーオキサイド、ターシャリィブチルクミルパーオ キサイド、ジクミルパーオキサイド、ピス (ター シャリィブチルパーオキシイソプロピル) ベンゼ ィブチルパーオキシ) ヘキサン、2. 5ージメチ ルー2, 5ージ (ターシャリィブチルパーオキシ) ヘキシンー3、アセチルパーオキサイド、イソブ チリルパーオキサイド、オクタノイルパーオキサ イド、デカノイルパーオキサイド、ウラロイルパ ーオキサイド、3、5、5ートリメチルヘキサノ イルパーオキサイド、過酸化こはく酸、過酸化ベ ンゾイル、2、4ージクロロベンゾイルパーオキ サイド、メタートルオイルパーオキサイド、ジィ ソプロピルパーオキシジカーボネート、ジー2-エチルヘキシルパーオキシジカーポネート、ジー 2-エトキシエチルパーオキシジカーポネート、 ジメトキシイソプロピルパーオキシカーポネート、 ジ(3-メチルー3-メトキシブチル)パーオキ シジカーポネート、ターシャリィブチルパーオキ シアセテート、ターシャリィブチルパーオキシピ

パレート、ターシャリィブチルパーオキシネオデ カノエート、ターシリリィブチルパーオキシオク タノエート、ターシャリィブチルパーオキシー 3. 5. 5ートリメチルヘキサノエート、ターシャリ ィブチルパーオキシラウレート、ターシャリィブ チルパーオキシペンゾエート、ジターシャリィブ チルジパーオキシイソフタレート、2. 5ージメ チルー 2. 5ージ (ペンゾイルパーオキシ) ヘキ サン、ターシャリィブチル過酸化マレイン酸、タ ーシャリィブチルパーオキシイソプロピルカーボ ネート、3, 3′, 4, 4′ーテトラー(tープ チルパーオキシカルポニル) ベンソフェノン、3. 3′, 4, 4′ーテトラー (tーアミルパーオキ シカルポニル) ベンゾフェノン、3. 3′, 4. 4′ ーテトラ (t-ヘキシルパーオキシカルポニ ル) ペンゾフェノン、3. 3′. 4, 4′ーテト ラ (tーオクチルパーオキシカルポニル) ベンゾ フェノン、3.3′.4.4′ーテトラ(クミル パーオキシカルポニル) ペンゾフェノン、3. 3′ , 4 , 4′ ーテトラ (pーイソプロピルクミ

ルパーオキシカルポニル) ベンゾフェノン、カル ポニルジ (tーブチルパーオキシ二水素二フタラ ート)、カルポニルジ (tーヘキシルパーオキシ 二水素二フタラート) 等がある。

これらの中で、3,3′,4,4′ーテトラー(tーブチルパーオキシカルボニル)ペンソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラー(tーブチルパーオキシカルボニル)ペンソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(tーオクチルパーオキシカルボニル)ペンソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(tーオクチルパーオキシカルボニル)ペンゾフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、3,3′,4,4′ーテトラ(pーイソフェノン、ジーtーブチルジパーオキシイソフタレート等の過酸化エステル系が好ましい。

次に一般式(Π)で表わされる化合物において、 R° は未置換または置換された炭素数 $6\sim24$ の 芳香族化合物、または炭素数 $3\sim30$ の複素環芳

特開昭63-258903 (19)

香族化合物のπーアレーンを表わし、R⁹ は未置換または置換された炭素数 6~2 4 の芳香族基炭素数 3~3 0 の複素環芳香族基または炭素数 1~1 0のアルキル基、シクロアルキル基または置換アルキルである有機脂肪族基のπーアレーンまたはπーアレーンの陰イオンを表わし、単核、結合多核または非結合多核であっても良い。

また、一般式 (II) で表わされる化合物として 特別昭 6 1 - 1 2 0 8 2 7 号明細書に記載されて いる金属アレーン化合物をあげることができる。

ここに、金属アレーン化合物とは、芳香族または不飽和化合物のπ電子と金属とがπ結合した化合物であり、一般に "π結合有機金属化合物" という。この種の有機金属化合物のうちで安定なものの大部分は、芳香族または不飽和化合物のπ電子数と金属またはイオンの電子数の和が希がスの原子番号に等しくなっている。

具体的には(η^6 - 2-メチルナフタレン) (η^5 - シクロペンタジエニル)鉄(II)のPF。 塩、(η^6 - クメン)(η^5 - シクロペンタジエ ニル)鉄(Ⅱ)のPF。塩、(η®ーイソプロピルベンゼン)(η⁵ーシクロベンタジエニル)鉄
(Ⅱ)のPF。塩、(η®ートルエン)(η⁵ーインデニル)鉄(Ⅱ)のPF。塩、(η゚ートルエン) 鉄(Ⅱ)のPF。塩、(η゚ートルエン)(η⁵ーシクロベンタジエニル)鉄(Ⅱ)のPF。塩、(η゚ーナフタレン)(η⁵ーシクロベンタジエニル)鉄(Ⅱ)のAsF。塩、(η゚ーベンゼン)(η⁵ーシクロベンタジエニル)コバルト(Ⅱ)のBF。塩をあげることができる。

また、芳香族オニウム塩として特公昭52-14278号、特公昭52-14279号明細書に示されている化合物をあげることができる。

具体的には

特開昭63-258903 (20)

$$P = CH_{a} - C$$

特開昭 63-258903 (21)

$$\begin{pmatrix}
0 & & & & & & & & & & & & \\
0 & & & & & & & & & & \\
0 & & & & & & & & & \\
0 & & & & & & & & \\
0 & & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 & & & & & \\
0 &$$

さらに、芳香族ハロニウム塩として特公昭52 - 1 4 2 7 7 号明細書に示される化合物をあげる ことができる。具体的には

をあげることができる。これらの中で好ましくは、 BF。塩、又はPF。塩の化合物さらに好ましく は金属アレーンのPF。塩である。

次に水発明で用いられる一般式 (N)

$$Ar = \stackrel{0}{C} = \stackrel{R}{\longrightarrow} \stackrel{\circ}{\longleftarrow} \stackrel{\circ}{\longrightarrow} \stackrel{\longrightarrow}{$$

で表わされる化合物においてのRio、Riiのアル キル基としてはメチル、エチル、プロピル等の炭 素数1~20個のものがあげられる。また、Rio とRinが結合して形成するアルキレン基としては、 テトラメチレン、ペンタメチレン等があげられる。 ArにおけるRiz~i, のアルキル基としては炭素数 1~4個のものがあげられる。また、アルケニル 基としては炭素数3~12のものがあげられる。 さらに、Riz~Rieのアリール基としてはフェニ ル基があげられる。さらにアルコキシ基としては 炭素数1~4のものがあげられる。Rioのアシル

n./

特開昭63-258903 (22)

基としてはアセチル、プロピオニル、アクリロイル等があげられる。

このような一般式(IV)の具体例としては、

$$C_2H_3S$$
 C_3H_3 C_3H_3 C_3H_3

$$\begin{array}{c|c}
& CH^{2} \\
& CH^{2}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c|c}
& CH^{2} \\
& CH^{2}
\end{array}$$

$$\begin{array}{c|c}
& CH^{2} \\
& CH^{2}
\end{array}$$

などがあげられる。

この中で好ましくは(IV-1)、(IV-2)、(IV-8)、(IV-9)の化合物である。

本発明の組成物中のこれらの光重合開始剤系の含有濃度は通常わずかなものである。また、不適当に多い場合には有効光線の遮断等好ましくない 結果を生じる。本発明における光重合開始剤系の

$$CH_{\bullet}OS$$
 $CH_{\bullet}OS$ $CH_{\bullet}OS$ $CH_{\bullet}OS$ $CH_{\bullet}OS$

$$CII_{\sigma}S$$
 $(IV - 6)$

量は、光重合可能なエチレン性不飽和化合物と必要に応じて添加される線状有機高分子重合体との合計に対して0.01%から60%の範囲で使用するのが好ましい。より好ましくは、1%から30%で良好な結果を得る。

また、本発明の光重合性組成物では、必要により種々の有機アミン化合物を併用することができる。更に光重合開始能を増大せしめることができる。これらの有機アミン化合物としては、例えば、トリエタノールアミン、ジメチルアミン、ジェタノールアニリン、ロージメチルアミノ安息香酸エチルエステル、ミヒラーズケトン等があげられる。有機アミン化合物の添加量は、全光重合開始剤量の50%~200%程度が好ましい。

更に本発明で用いる光重合開始剤に必要に応じてNーフェニルグリシン、2 ーメルカプトペンゾチアゾール、N、Nージアルキル安息香酸アルキルエステル等の水素供与性化合物を加えることによって更に光重合開始能力を高めることができる。 本発明に使用することのできる「線状有機高分

特開昭 63-258903 (23)

子重合体」としては、当然光重合可能なエチレン 性不飽和化合物と相溶性を有している線状有機高 分子重合体である限り、どれを使用しても構わな い。望ましくは水現像或は弱アルカリ水現像を可 能とする水あるいは弱アルカリ水可溶性又は膨潤 性である線状有機高分子重合体を選択すべきであ る。線状有機高分子重合体は、該組成物の皮膜形 成剤としてだけでなく、水、弱アルカリ水或は有 機溶剤現像剤としての用途に応じて使用される。 例えば、水可溶性有機高分子重合体を用いると水 現像が可能になる。この様な線上有機高分子重合 体としては、側鎖にカルポン酸を有する付加重合 体、例えば特開昭59-44615号、特公昭 54-34327号、特公昭58-12577号、 特公昭54-25957号、特開昭54-92723号、特開昭59-53836号、特開 昭59-71048号各広報に記載されている。 すなわち、メタクリル酸共重合体、アクリル酸共 重合体、イタコン酸共重合体、クロトン酸共重合 体、マレイン酸共重合体、部分エステル化マレイ

ン酸共重合体等がある。また同様に側鎖にカルポ ン酸を有する酸性セルロース誘導体がある。この 外に水酸基を有する付加重合体に環状酸低水物を 付加させたものなどが有用である。特にこれらの 中で (ペンジル (メタ) アクリレート/ (メタ) アクリル酸/必要に応じてその他の付加重合性ビ ニルモノマー〕共重合体及び〔アリル(メタ)ア クリレート/(メタ)アクリル酸/必要に応じて その他の付加重合性ピニルモノマー〕共重合体が 好適である。この他に水溶性線状有機高分子とし て、ポリピニルピロリドンやポリエチレンオキサ イド等が有用である。また硬化皮膜の強度をあげ るためにアルコール可溶性ナイロンや2、2ービ スー(4ーヒドロキシフェニル)ープロパンとエ ピクロロヒドリンのポリエーテル等も有用である。 これらの線状有機高分子重合体は全組成中に任意 な量を混和させることができる。しかし90重量 %を越える場合は形成される画像強度等の点で好 ましい結果を与えない。好ましくは30~85% である。また光重合可能なエチレン性不飽和化合

物と線状有機高分子重合体は、重量比で0.5/ $9.5\sim5/5$ の範囲とするのが好ましい。より好ましい範囲は $1/9\sim4/6$ 範囲である。

また、本発明においては以上の基本成分の他に 感光性組成物の製造中あるいは保存中において重 合可能なエチレン性不飽和化合物の不要な熱重合 を阻止するために少量の熱重合防止剤を添加する ことが望ましい。適当な熱重合防止剤としてはハ イドロキノン、P-メトキシフェノール、ジーt ーブチルーPークレゾール、ピロガロール、tー ブチルカテコール、ペンゾキノン、 4 , 4′ーチ オピス (3ーメチルー6ーtーブチルフェノール) 2. 2' -メチレンピス (4-メチルー6-t-ブチルフェノール)、2ーソルカプトペンゾイミ ダゾール、Nーニトロソフェニルヒドロキシアミ ン第一セリウム塩等があげられる。熱重合防止剤 の添加量は、全組成量の重量に対して約0.01% ~約5%が好ましい。また必要に応じて、酸素に よる重合阻害を防止するために高級脂肪酸誘導体 等を添加して表面に浮かせてもよい。高級脂肪酸

誘導体の添加量は、全組成量の約0.5%~約10%が好ましい。さらに、感光層の着色を目的として染料もしくは顔料を添加してもよい。染料および顔料の添加量は全組成量の約0.5%~約5%が好ましい。加えて、便化皮膜の物性を改良するために無機充填剤や、その他の公知の添加剤を加えてもよい。

本発明の光重合性組成物は、您布する際には種々の有機溶剤に溶かして使用に供される。 ここチル 使用する溶媒としては、アセトン、メチルエチレングクロライド、テトラヒドロフラン、トルエチレングリコールモノメチルエーテル、エチグリコールモチルエーテル、プロピレングリコーと、エチルエーテル、ジアセトン、ジアセトン、エチレングレングレール、ジアセトン、エチレングレングレールエチルエーテルアセテート、エチレングリコールエチルエーテルアセテート、エチレング

特開昭63-258903 (24)

リコールモノイソプロピルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート、3ーメトキシブロパノール、メトキシェチルエーテル、ジェチレングリコールモノメチルエーテル、ジェチレングリコールデェーテル、プロピレングリコールジェチルエーテルでセテート、プロピレンクリコールジェチルエーテルアセテート、3ーンメチルエーテルアセテート、N・ハージメチルエーテルアセテート、N・ハージメチルホーシッとである。ことができる。そして、公布溶液中の固形分の濃度は、2~50重量%が適当である。

その被覆量は乾燥後の重量で約0.1gm~約10g/mの範囲が適当である。より好ましくは $0.5 \sim 5g/m$ である。

上記支持体としては、寸度的に安定な板状物が 用いられる。該寸度的に安定な板状物としては、

化ジルコニウム酸カリウム、燐酸塩等の水溶液への浸漬処理、あるいは陽極酸化処理などの表面処理がなされていることが好ましい。

また、米国特許第3,658,662号広報に記載されているようなシリケート電着も有効である。

更に、特公昭46-27481号広報、特開昭52-58602号広報、特開昭52-30503 号広報に開示されているような電解グレインを施 紙、プラスチック(例えばポリンネートニース・ボリスチック(例えばポリンネートニースがリスがカム(カーニースがカム)、ボーカーには、アウン、ボリスが変数をして、一点を変して、変して、一点を変して、変して、変して、変して、変しを変して、変しを変して、変して、変しな変して、変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変して変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる変しなる

18327号広報に記載されているようなポリエ チレンテレフタレートフィルム上にアルミニウム シートが結合された複合体シートも好ましい。

また金属、特にアルミニウムの表面を有する支 持体の場合には、砂目立て処理、珪酸ソーダ、非

した支持体と、上記陽極酸化処理及び珪酸ソーダ 処理を組合せた表面処理も有用である。

また、特別昭 5 6 - 2 8 8 9 3 号広報に明示されているような機械的相面化、化学エッチ、電解グレイン、陽極酸化処理さらに珪酸ソーダ処理を順に行ったものも好適である。

更に、これらの処理を行った後に、水溶性の樹脂、たとえばポリピニルフォスホン酸、スルホン酸基を側鎖に有する重合体および共重合体、ポリアクリル酸、水溶性金属塩(例えば硼酸亜鉛)もしくは、黄色染料、アミン塩等を下塗りしたものも好適である。

これらの親水化処理は、支持体の表面を親水性とするために施される以外に、その上に設けられる光重合性組成物の有害な反応を防ぐため、かつ 感光層の密着性の向上等のために施されるものである。

支持体上に設けられた光重合性組成物の層の上には、空気中の酸素による重合禁止作用を防止するため、例えばポリビニルアルコール、酸性セル

特開昭63-258903 (25)

ロース類などのような酸素遮断性に優れたポリマーよりなる保護層を設けてもよい。この様な保護層の塗布方法については、例えば米国特許第3,458,311号、特公昭55-49729号広報に詳しく記載されている。

また本発明の光重合性組成物は通常の光重合反応に使用できる。さらに、印刷版、プリント基板等作成の際のフォトレジスト等多方面に適用することが可能である。特に本発明の光重合性組成物の特徴である高感度性と可視光領域までの幅広い分光感度特性により、Ar*レーザー等の可視光レーザー用の感光材料に適用すると良好な効果が得られる。

本発明の光重合性組成物を用いた印刷版を露光 し、現像液で感光層の未露光部を除去し、 画像を 得る。これらの光重合性組成物を平版印刷版とし て使用する際の好ましい現像液としては、 特公昭 57-7427号広報に記載されているような現 像液があげられ、ケイ酸ナトリウム、ケイ酸カリ ウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸 化リチウム、第三リン酸ナトリウム、第二リン酸ナトリウム、第三リン酸アンモニウム、第二リン酸アンモニウム、第二リン酸アンモニウム、第二リン酸アンモニウム、メタケイ酸ナトリウム、重炭酸ナトリウム、アンモニア水などのような無機アルカリ剤やモノエタノールアミン又はジェタノールアミンなどのような有機アルカリ剤の水溶液が適当である。核アルカリ溶液の濃度が0.1~10重量%、好ましくは0.5~5重量%になるように添加される。

また、該アルカリ性水溶液には、必要に応じ界面活性剤やペンジルアルコール、2ーフェノキシェタノール、2ーブトキシエタノールのような有機溶媒を少量含むことができる。例えば、米国特許第3、3 75、1 7 1 号および同第3、6 15、4 8 0 号公報に記載されているものを挙げることができる。

更に、特開昭 5 0 - 2 6 6 0 1 号、同 5 8 - 5 4 3 4 1 号、特公昭 5 6 - 3 9 4 6 4 号、同 5 6 - 4 2 8 6 0 号の各公報に記載されている現像被も優れている。

(発明の効果)

本発明の光重合性組成物は紫外光から可視光の 幅広い領域の活性光線に対して高感度を有する。 したがって光源としては超高圧、高圧、中圧、低 圧の各水銀灯、ケミカルランプ、カーポンアーク 灯、キセノン灯、メタルハライド灯、可視及び紫 外の各種レーザーランプ、蛍光灯、タングステン 灯、及び太陽光等が使用できる。

以下実施例をもって本発明を説明するが本発明 はこれに限定されるものではない。

実施例1~11

厚さ 0.3 0 mmのアルミニウム板をナイロンブラシと 4 0 0 メッシュのパミストンの水懸濁液とを用いその表面を砂目立てした後、よく水で洗浄した。 1 0 %水酸化ナトリウムに 7 0 ℃で 6 0 秒間 浸漬してエッチングした後、流水で水洗後 2 0 % 硝酸で中和洗浄し、次いで水洗した。これを V & = 1 2.7 V の条件下で正弦披の交番波形電流を用いて 1 % 硝酸水溶液中で 1 6 0 クローン/dm²の 陽極時電気量で電解粗面化処理を行った。その表

面粗さを測定したところ、0.6 µ (Ra表示)であった。ひきつづいて30%の硫酸水溶液中に浸渍し55℃で2分間デスマットした後、20%硫酸水溶液中、電流密度2A/dm²において厚さが2.7g/m²になるように2分間陽極酸化処理した。このように処理されたアルミニウム板上に、下記組成の感光度を乾燥塗布重量が1.5g/m²となるように塗布し、80℃2分間乾燥させ感光層を形成させた。

トリメチロールプロパントリ(アクリ ロイルオキシプロピル) エーテル 2. 0 g アリルメタアクリレート /メタクリル酸共重合体 (共取合モル比80/20) 2. 0 g X g 0. 2 g 銅フタロシアニン顔料 フッ素系ノニオン界面活性剤 0.03g [3M社製、フルオラッド FC-430 (商品名)] メチルエチルケトン 2 0 g

特開昭 63-258903 (26)

プロピレングリコールモノ

メチルエーテルアセテート

2 0 g

この感光性層上にポリピニルアルコール (ケン化度 8 6.5 ~ 8 9 モル%、重合度 1 0 0 0) の 3 重量%の水溶液を乾燥塗布重量が 2 g/m²となるように塗布し、100℃/2分間乾燥させた。

可視光での感光性試験は、可視光(液長=488 nm)、及びAr・レーザー光(液長=488 nm)の各単色光を用いた。可視光の488 nmの単色光はタングステンランプを光源としKenko optical filter BP49を通して得た。感度測定には富士PSステップがイド(富士写真フイルム株式会社製、初段の透過光学濃度が0.05で順次0.15増えていき15段まであるステップタブレット)を使用して行った。感材膜面部での照度が25LUXで120秒露光した時のPSステップがイドのクリアー段数で示した。

レーザー光はAr* レーザー (レクセル製モデル 95-3) の波長488nmのシングルラインをピ - ム径100μで使用しAr* レーザーの強度を変 え、スキャンした(N D フィルター使用)。 現像 後に得られた線巾を測定し 1 0 0 μの線巾が再現 された時のAr・レーザーの強度を感度とした。

現像には、下記の現像液に25℃、1分間浸渍 して行った。

光重合開始剤の組み合わせを変えた時の感度の 結果を表1~3に示す。

	**			
			蟾	આ
	安	,	BPフィルター光での	A + #7
	1		クリアー股数 (B)	の版 度(mJ/cal)
() () () () () () () () () ()	2. 4. 6-17x (1900xxxx) S-19752	0. 1 g		
	具体的 (1-12) の化合物 0	0.18	5.5	67
	(な* -2-メチルナフタレン) (な* -シクロペンタジェニル) 株(II) P.F. 塩	0.1 g		· •
英雄男2	2- (P-Tセチルフェニル) -4, 6-	0.18		
	具体的 (1-13) の化合物 0	0.16	5.2	о с.
	(v* - インプロドルペンセン) (v* - シクロペンタジェール) (v) PF。塩	0.18		; ;
実施例3	2- (p-)on/x=n) -4, 6- Ex (h))oux +n) S-h)792	0.18		
	具体例 (1-40) の化合物		æ	8
	ジフェニルヨードニウムのPF。塩	0.18		s i
海豚倒	2- (P-メトキシフェニル) -4, 6- ピス (トリクロルメチル) S-トリアジン	0.18		
•	具体例 (1-16) の化合物 0.	0.18	5.2	တ
·	(v* -インプロピアスンポン) (v* - ンクロスンタジェール) 様 (II) P.F. 袖 0.	0.18		
EEE ON 1	2. 4. 6-+リス (トリクロルメチル) -S-トリナジン (トリクロルメチル)	p0	1400年	1 20 0
比较到3	2- (p-Tセチルフェニル) -4.6- ピス (トリクロルメチル) S-トリアジン 0.	-		
Hebber 3	2- (P-クロルフェニル) -4, 6- ビス (トリクロルメチル) S-トリアジン 0.1	1 8		
iteess 4	2- (P-メトキシフェニル) 4, 6- ピス (トリクロルメチル) S-トリアジン 0.1	0.18	,	*
比較例5	(1-12) の化合物	18		2
11.00 E	(1-14) の化合物 0.	1 8	a.	
11600	(1-40)	80	"	1
1. C.	<u>E</u>	80	4	2
ILEXEN 9	(カ* - 2 - メチルナンタレン) (カ* - ンクロベンタジエニル) 鉄 (ロ) PF。塩 0.1	- 00	3	*
LERE BY 10	(v°ーインプロビルベンゼン) (v°ーンクロベンタジエニル) 鉄(I) PF。近 0.1	bo	"	2

特開昭63-258903 (27)

BPフィルター光での A,・・・サー光で クリエー段数 (段) の紙 既(a.j/cal) 18.2 数 1 (5 ひき) 0.18 (n゚ーインプロピルペンゼン) (n゚ーシクロペンタジエール) 鉄 (I) PF。塩 联 比较例23 具体例 (1-16) の化合物 19 塞

後しつとも

RECORD D D D D D D D D D				類	五
2. 4, 6-1 以 (1) 0 に合物 0.18 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "		坦		P74129	1
2.4,6-19ス(1-12)の化合物 0.18 3.5 2.4,6-19ス(1-12)の化合物 0.18 3.5 2.4(6-19ス(1-12)の化合物 0.18 3.2 34体例(1-12)の化合物 0.18 3.2 34体例(1-13)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-13)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-13)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-13)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-15)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-16)の化合物 0.18 3.0 34体例(1-16)の化合物 0.18 3.0 3-4,6-19ス(1-16)の化合物 0.18 3.0 3-4,6-19ス(1-16)0(16) 0.18 3.0 3-4,6-19ス(1-16)0(16)0(16)0(16)0(16)0(16)0(16)0(16)0(リエー段数	
2-4,6-1,0 × (+ リクロルメチル) 0.18 3.5	HENDIII	グフエエルヨードニウムのPF。塩	-	"	"
製体的 (1-12) の化合物 0.18 3.5 モス (トリクロルチル) - S-トリテジン 0.18 3.2 異体的 (1-13) の化合物 0.18 5.0 モス (トリクロルチル) S-トリテジン 0.18 5.0 異体的 (1-13) の化合物 0.18 3.0 異体的 (1-10) の化合物 0.18 3.0 異体的 (1-10) の化合物 0.18 3.0 異体的 (1-16) の化合物 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) S-トリテジン 0.18 3.0 異体的 (1-16) の化合物 0.18 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) S-トリテジン 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) S-トリテジン 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) S-トリテジン 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) - S-トリアジン 0.18 3.0 シクロベンタジエニル) 女 (1) PF・塩 0.18 3.0 シクロベンタジエニル) 女 (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) - S-トリアジン 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) - S-トリアジン 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) - S-トリアジン 0.18 3.0 シクロベンタジエニル) 女 (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) オ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) オ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) オ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) 女 (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) スー (トリケンビルベンビン) (マー ロータジロベンタジエニル) 女 (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) カ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) カ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) スー (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) カ (1) PF・塩 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) の化合物 0.18 3.0 スー (トリクロルチル) の化合物 0.18 3.0 スフェルカード・カ (1) PF・塩 0.18 3.0 スフェルカード・カ (10 PF・塩 0.18 3.0 スフェルカード・カ (10 PF・塩 0.18 3.0 スカード・カ (10 PF・塩	ttt29112	2. 4, 6-172 (1900mx 7m) S-19752			
2 - {P-ブキチルフェニル} - 4, 6 - 0.18 3.2 現体例 (1-13) の化合物 0.18 5.0 Ex {Pyorky x = h} - 5 - 19 アジン 0.18 5.0 具体例 (1-13) の化合物 0.18 5.0 Ex {Pyorky x = h} - 4, 6 - 0.18 3.0 具体例 (1-40) の化合物 0.18 3.0 具体例 (1-16) の化合物 0.18 3.0 具体例 (1-16) の化合物 0.18 " " " " " " " " " " " " "		-12)の化合物			7.1
具体的 (1-13) の化合物	स्टब्सा	2- (p-ナセチルフェニル) -4, 6-ビス (トリクロルメチル) -5-トリナジン		3.2	7.9
2- {P-クロルンユニル} -4,6- 具体例 (1-40) の化合物 0.18 5.0 日本内 (1-40) の化合物 0.18 3.0 日本内 (1-40) の化合物 0.18 3.0 日本内 (1-40) の化合物 0.18 3.0 日本内 (1-16) の化合物 0.18 3.0 2. 4,6-トリス (トリクロルメチル) 0.18 画像できず 6 パラロペンタジエニル) 技 (1) PF。塩 0.18 " 2- (P-ブキルブラルン) (ヤ* - 0.18 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "		3)の化合物			
2- (p - ** † ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	比较到1	2- (ロークロルフェニル) -4, 6-			
2- (p-メキナフェール) - 4, 6- 0.18 3.0 具体的 (1-16) の化合物 0.18 3.0 5-4, 6-1 3 (1) 9 つルメチル) 0.18		-40)の化合物			
2. 4, 6-+リス (トリクロルメチル) 0.18 画像できず 6 5-トリステントリテント 0.18 画像できず (ヤ* - 2 - メチルナフタレン) (ヤ* - 4, 6 - 2 - (トリクロルメチル) - 5 - トリブジン 0.18	LEW915	2- (p-メトキシフェニル) -4.6- ピス (トリクロルメチル) S-トリナジン	1.18	0.60	
2. 4. 6ートリス (トリクロルメチル) 0.18 画後できず 6 (70*-2-メチルナフタレン) (70*-2-メチルナフタレン) (70*-2-メチルナフタレン) (70*-2-メチルナフタレン) (70*-2-メチルナフタレン) (70*-1) (70		具体的 (1-16)の化合物	1.18	:	
2 (p * -2 - メチルナフタレン) (p * - 2 - メチルナフタレン) (p * - 2 - バンフェニル) 4 (1) PP * 塩 0.1g " " (p * - 1 + バンフェニル) - 4 (p * - 1 + バンフェニル) + 1 (p * - 1 + バンコニル) + 1 (p * - 1 + バンコニール) + 1 (p * - 1 + バコココール) + 1 (p * - 1 + バンコニール) + 1 (p * - 1 + バコココール) + 1 (p * - 1 + バココール) + 1 (p * -	LERZON16	2. 4. 6-192 (11902x72) S-19722		国後であず	4四009
2- (Pープキチルフュニル) - 4, 6-7 ピス (トリクロルメチル) - Sートリ デジン 0.18 パクロペンタジエニル) 鉄 (II) PF。塩 0.18 ピス (トリクロルステル) - 5 - トリ デジン 0.18 ピス (トリクロルメチル) - 5 - トリ デジン 0.18 ピス (トリクロルメチル) - 5 - トリ デジン 0.18 ピス (トリクロルメチル) - 4, 6-8 ピス (トリクロルメチル) 3 - トリ デジン 0.18 パルーインプロピルベンゼン (ヤーム・0.18 パルーインプロピルベンゼン) (ヤーム・0.18 パルーインプロピルベンゼン) (ヤーム・0.18 スポロ (1-12) の化合物 0.18 スポロ (1-13) の化合物 0.18 スポロ (1-13) の化合物 0.18 スポロ (1-40) の化合物 0.18 ステーベンタジエニル 鉄 (II) PF。塩 0.18		n* -2-メチルナフタレン) (n* - クロベンタジエニル) 鉄 (II) PF。塩	_		3
2 (p* - インプロピルペンセン) (p* - 4 0.18 2 (p - 9 0 ルフェニル) 株 (1) PF* 塩 0.18 ピス (トリクロルフェニル) - 4, 6 - 7 0.18 ピス (トリクロルメチル) - S - トリアジン 0.18 ピス (トリクロルメチル) - 4, 6 - 7 0.18 (p* - インプロピルペンセン) (p* - 9 0.18 パマースンタジエニル) 株 (1) PF* 塩 0.18 パマース・メテルナフタレン) (p* - 0.18 パマース・メテルナフタレン) (p* - 0.18 スポース・フロピルペンセン) (p* - 0.18 スポース・フロピー、 株 (1) PF* 塩 0.18 月体例 (1-13) の化合物 0.18 月体例 (1-40) の化合物 0.18 ステーベンタジエニル 株 (1) PF* 塩 0.18 日本例 (1-40) の化合物 0.18 ジフェニルヨードニウムのPF* 塩 0.18	EUMON17	(P-ブセチルフュニル) ー4, 6- (トリクロルメチル) -S-トリアジン		2.	2
2- {P-クロルフェニル} -4,6- ビス {トリクロルメチル} -5-トリアジン 0.1g 2- {P-メトキジスェール} -4,6- ビス {トリクロルメチル} S-トリアジン 0.1g (7*-インプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル} 杖 (1) PF*塩 0.1g (7*-2-メチルナフタレン) {v²- ジクロベンタジエニル) 杖 (1) PF*塩 0.1g (7*-2-メチルナフタレン) {v²- ジクロベンタジエニル) 杖 (1) PF*塩 0.1g 月体例 (1-13) の化合物 (7*-イソプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル (林 (1) PF*塩 0.1g (7*-イソプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル (林 (1) PF*塩 0.1g (7*-イソプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル (林 (1) PF*塩 0.1g (7*-インプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル (林 (1) PF*塩 0.1g (7*-インプロビルベンゼン) {v²- ジクロベンタジエニル (林 (1) PF*塩 0.1g (10 0.1g) 0.1g		n・-インプロピルベンゼン) (n・- クロベンタジエニル) 鉄 (I) PF。塩			
2 - {p-メトキシスェール - 4, 6 - 6 - 6 - 7 / 18	11-tx@118	2- (p-90ルフェニル) -4, 6- ピス (トリクロルメチル) -5-トリアジン	88	2	2
2 - {p-メトキシフェニル} - 4, 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6 - 6		ェニルヨードニウムのPF。塩	.18		
(す。- インプロピルベンゼン) (す。 - インプロピルベンゼン) (4 0 0 1 8	LERENIS	(ローメトキシフェニル) - 4, 6- (トリクロルメチル) S-トリアジン	50	2	*
具体例 (1-12) の化合物 0.18 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0		(7) PF。格	80		,
(4°-2-メテルナフタレン) (4°-10.18 シクロペンクジェニル) 鉄 (日) PF。塩 0.18 具体例 (1-13) の化合物 0.18 0.8 1 シクロペンタジェニル (鉄 (目) PF。塩 0.18 以のロペンタジェニル (鉄 (目) PF。塩 0.18	LEASON20	(1-12)の化合物	8		
具体例 (1-13) の化合物 0.18 0.8 1 (7°-4ソプロピルペンセン) (7°-4ソプロピルペンセン) (7°-4 0.18		(42 P.F.性	80	 -:	17.0
(v* - インプロピルペンセン) (v* - 18 0.18 0.18 0.18 0.18 0.18 0.18 0.18 0	LEW M21	(1-13) の化合物	8		1
具体的 (1-40) の化合物 0.18 0.18 1.0 1		- インプロピルペンピン) (7-* - ペンタジエニル (鉄 (11) P.F. 私	8	∞ ວ່	တ
ニルヨードニウムのPF。地 0.18	比较例22	- 40)の化合物	1.8		
		ニルヨードニウムのPF。地	89	J. 0	1 7.0

特開昭63-258903 (28)

		松		
			1	東
	超	豪	BPフィルター光での	A. ーザー光で
		-	クリアー股数 (限)	の域 底(a.J/cd)
实施例5	BTTB	0.28		
	具体例 (1-12)の化合物	0.18	9.5	0.89
,	(v° -2-/チルナンタレン) (v° -2-/チルナンタレン) (v° -2-/チルナンタロペンタジェール) 杖 (II) PF。粒	益 0.1.6		
実施例6	BTTB	0.28		
	具体的 (1-13) の化合物	0.1.8	1 0.5	0.63
	(ve -2ーメチルナンタレン) (ve - シクロベンタジェール) 鉄 (I) PF・塩	五 0.18		
尖施例?	BTTB	0.28		
	具体的 (1-40)の化合物	0.18	1 0.0	0.75
	(v* -インプロピルベンゼン) (v* ツクロベンタジェニル) 鉄(II) PF。	4 0.18		
実施例8	PBIF	0.28		
	具体例 (1-41) の化合物	0.18	9.0	1.06
	(n°-2-メチルナフタレン) (n³ シクロペンタジェニル) 鉄 (II) PF。	전 전 0.18		
££429424	BTTB	0.28	画像できず	17009
LERENIZS	PBIF	0.28	"	"
LECTOR SE	具体例 (1-12) の化合物	0.18	"	
LEWM27	具体例 (1-13) の化合物	0.18		*
比较到28	具体例 (1-40) の化合物	0.18	2	
FFEX MISS	具体例 (1-41) の化合物	0.18	*	
H-83490	(v* -インプロピラベンボン) (v*) シクロベンタジェール) 狭 (ロ) P.F.	4 0.18	*	*
Lt2/9/31	(v* -2-メチルナフタレン) (v* シクロペンタジエニル) 鉄 (II) PF。	—————————————————————————————————————	*	,
LEEVEN32	BTTB	0.28	r.	ء
	具体例 (1-12) の化合物	0.18		∞
LECON33	BTTB	0.28	v	
	具体例 (1-13)の化合物	0.18		1.20
FEK6934	вттв	0.28	0	
	具体的 (1-40)の化合物	0.18		
			-	

			感	度
	開 始 刺		BPフィルター光	での A・・・・ザー光で
			クリアー段数 (段) の感 度(mJ/cd)
比较例35	PBIF	0.2 g	7.5	1.78
	具体例(I-41)の化合物	0.1 g	1.3	1. / 8
比较例36	вттв	0.2 g	画像できず	600615
	(π ⁶ ー 2 ーメチルナフタレン)(π ⁶ ー シクロペンタジェニル)鉄(II) P F 。塩	0.1 g		30021
比较例37	вттв	0.2 g		,
	(ヵ゚ーイソプロピルベンゼン)(ヵ゚ーシクロペンタジエニル)鉄(Ⅱ) P F 。塩	0.1 g		
比較例38	PBIF	0.2 g	.,	
	(ヵ゜~2-メチルナフタレン)(ヵ゜- ンクロペンタジエニル)鉄(Ⅱ)PF。塩	0.1 g		
比较例39	具体例(I-12)の化合物	0.1 g	1.0	17.00
	(ヮ゚ー2ーメチルナフタレン)(ヮ゚ー シクロベンタジエニル)鉄(Ⅱ)PF。塩	0.1 g	1.0	17.00
比較例40	具体例(1-13)の化合物	0.1 g	0.8	1 8. 2
	(n° −2−メチルナフタレン)(n° − シクロペンタジェニル)鉄(I) P F 。塩	0.1 g	u. 8	1 0. 2
比較例41	具体例(1-40)の化合物	0.1 g	1.0	17.00
	(n ⁶ ーイソプロピルベンゼン)(n ⁶ − シクロベンタジエニル)鉄(Ⅱ) PF。塩	0. 1 g	1.0	17.00
比較例42	具体例(I-41)の化合物	0. l g	0.5	2 0, 2
	(n*-2-メチルナフタレン) (n*- シクロペンタジェニル) 鉄(II) PF。塩	0. 1 g	0.5	2 0. 2

į	**			
		•	酱	斑
	所 识 器 识 题 宋		7	Ar. アーギー およの発展
实施例9	2. 4. 6-17x (1990mx+m)		でのクリエー政政	(a)/ca)
	体例1-12の化合物		κi	3.5
	具体例IV-1の化合物 0.	0.18		
突施例10	2- (P-Tセチルフェニル) -4, 6- ヒス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.1	18		
	具体例1-13の化合物 0.1	. 1 6	5.0	4.2
	具体例1/0化合物 0.	. 18		
突搖例11	2- (P-メトキシフェニル) -4, 6- ピス (トリクロルオチル) -S-トリアジン 0.1	16		
	具体例1-40の化合物 0.1		8.8	2.3
	具体的IV-8の化合物 0.	.18		
比较例3	2, 4, 6ートリス (トリクロルメチル) -Sートリアジン		国像できず	नत्त 0 0 9
1168341	2- (P-T++22=11)-4, 6- Ex (+12011+71)-5-11722 0.	98	7	2
比较例约	2- (P-メトキシフェニル) -4, 6- ピス (トリクロルメチル) -5-トリアジン 0.	0.18	R	ž.
LERENIAG	具体例1-12の化合物 0.1	. 18	И	2
1:E8:9147	具体例1-13の化合物 0.1	.18	,	"
1E626948	具体例1-40の化合物 0.1	18	n	2
1F689949	具体例1V-1の化合物 0.1	18	"	*
15426950	具体例1V-8の化合物 0.1	1 8	"	*
154X9451	2, 4, 6-1 リス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.1	0.18	3.5	7.1
	具体例1-12の化合物 0.1	18		
L-12 9452	2- (P-Tセチルフェニル) -4, 6- ピス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.1	80	3.2	7.9
	具体例1-13の化合物 0.1	8		
11:42:09:53	2- (P-メトキシフエニル) -4, 6- ビス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.1	90	5.0	4.2
	具体例1-40の化合物 0.1	8		
LERONS4	2. 4. 6-トリス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.1	18	画像できず	न त्र 0 0 9
	具体例IV-1の化合物 0.1	0.18		

実施例12~18

実施例1のアルミニウム基板の作製において20%硫酸水溶液中で陽極酸化処理する代りに5%りん酸水溶液中で電流密度2A/dm²において厚さが0.8g/m'になるように2分間陽極酸化処理した後、3%のケイ酸ナトリウム水溶液で70℃、10秒間処理した基板を用いて、次の感光液処方に従った感光板を作製した。

(感光液処方)

1.	5 g
3.	0 g
X	ď
0.	2 g
0. 0	3 g
2	0 g
	3. X 0. 0. 0

プロピレングリコール

モノメチルエーテルアセテート 20g この感光板の乾燥塗布重量は1.5g/㎡であった。そして実施例1と同様にこの感光板上にポリビニルアルコールからなる酸素遮断層を設け、実施例1と同様に露光し現像は特公昭56-42860号公報記載の現像液

	亜硫酸ナトリウム				3	g	_
	ベンジルアルコール			3	0	g	
	トリエタノールアミン			2	0	g	
	モノエタノールアミン				5	g	
	ベレックスNBL (tーブチル ナフタレンスルホン酸ナトリウム 花王アトラス蝌製)			3	0	g	
\	水	1	0	0	0	g	ل

で25℃、1分間浸漬して未露光部を除去することによって行った。

明始剤系の組み合わせを変えた時の感度の結果を表 4~6に示す。

			感		度
	開 姞 剤		BPフィルター	光での	Ar ーザー光で
			クリアー段数	(£7c)	の感度 (mJ/cd)
実施例12	2. 4. 6ートリス (トリクロルメチル) ーSートリアジン	0.1 g			
	具体例(1-38)の化合物	0.1 g	5. 0		2.8
	ジフェニルヨードニウムのPF。塩	0. 1 g			
実施例13	2- (pーアセチルフェニル) -2. 4-ビ (トリクロルメチル) -S-トリアジン	ス 0.1g			
	具体例(1-41)の化合物	0. I g	6. 5		2. 5
	(ワ゚ー2ーメチルナフタレン)(ワ゚ー シクロペンタジエニル)鉄(Ⅱ)PF c 塩	0. 1 g			
比較例60	2. 4. 6ートリス (トリクロルメチル) ーSートリアジン	0. 1 g	4. 0		5. 9
	具体例(1-38)の化合物	0.1 g	<u>j</u>		
比較例61	2- (pーアセチルフェニル) -2, 4-ビ (トリクロルメチル) -5-トリアジン	Z 0.1 g	3. 0		8. 5
	具体例(1-41)の化合物	0.1 g			
比較例62	具体例(I-38)の化合物	0. 1 g	1, 0		
	ジフェニルヨードニウムのPF。 塩	0.1 g	1.0		1 7. 0
比较例63	具体例(I-41)の化合物	0.1 g	0.5		2 0, 2
	(ヮ゚ー2ーメチルナフタレン)(ヮ゚ー シクロベンタジェニル)鋏(fl)PF。塩	0.1 g	0.5		2 U. Z

持開昭63-258903 (31)

		£ 3		
	-		感	度
}	崩 姞	剤	BPフィルター光での	Ar・ーザー光で
ļ			クリアー段数 (段)	の感度 (aJ/cal)
実施例14	ВТТВ	0.2 g		
	具体例(I-16)の化合物	0.1 g	10.0	0.75
	(ヮ゚ーイソプロビルベンゼン)(ヮ゚ シクロベンタジエニル)鉄(Ⅱ)PP。	_ 塩 0.1g		
実施例15	ВТТВ	0. 2 g		
	具体例(1-39)の化合物	0.1 g	9. 5	0.89
	$(\eta^6 - 2 - / + \nu + 7 + \nu)$ $(\eta^6 - 2 - / + \nu + 7 + \nu)$ 妖 $(1) \cdot PF$	_ 塩・・・0.1g		
比較到84	ВТТВ	0.2 g	画像できず	600以上
比较9965	具体例(I-16)の化合物	0. i g	~	"
比较9966	具体例(1-39)の化合物	0.1 g	"	•
比較例67	(nº ーイソプロピルベンゼン)(nº シクロベンタジェニル)鉄(II) PF。	_ 塩 0.1 s	,,	
比較例68	(n n − 2 − メチルナフタレン)(n n レクロベンタジエニル)鉄(II) P F a	_ 塩 0.1g	~	"
比較例69	ВТТВ	0.2 g	8. 0	1. 5 0
	具体例(1-16)の化合物	0.1 д	0. V	1.50
比较例70	вттв	0.2 g	7.5	1.76
	具体例(1-39)の化合物	0.1 g	1. 3	1. / 6
比较9771	具体例(I-16)の化合物	0.1 g	· 1. 0	17.0
	(η* -イソプロピルペンゼン) (η* シクロペンタジエニル) 鉄(II) PF。	· 0.1g	1.0	11.0
比较例72		0.1 g	0.8	1 8, 2
	$(\eta^*-2-メチルナフタレン) (\eta^*-2-メチルナフタレン) (リカウロペンタジェニル) 鉄(\Pi) PF。$	_ 塩 0.1g	y. o	1 0. 2

	椒			
			ži.	页
	光道合開始發		BP-49 フィルター光 でのクリアー位数 (扱)	A r · 7 - 4 - 1 光 元 の 原成 (a)/g)
実施例16	2- (P-Johjan) -4.6-	0.16		
	具体例1-39の化合物 0	0.18	6.0	3.0
	具体例IV-9の化合物 0	0.18		
実施例17	2- (P-Tセチルフェニル) -4, 6- ビス (トリクロルメチル) -5-トリアジン	0.18		·
	具体例1-16の化合物 0.	0.18	5.6	ю 4
	具体例IV-9の化合物 0.	0.18		
実施例18	2. 4. 6-192 (1900nstn) -5-19792	0.18		
	具体的1-41の化合物 0.	0.18	5.3	3.8
	具体例IV-8の化合物 0.	0.18		
H-KXBIT3	2- (P-ブロムフェニル) -4, 6- ビス (トリクロルメチル) -5-トリアジン	0.18	画像できず	नात 0 0 9
比较例74	2- (P-ブセチルフェニル) -4, 6- ビス (トリクロルメチル) -S-トリアジン	0.18	*	•
LERENTS	2, 4, 6-19x (190011711) 0.	0.1 g	¥	•
比较例6	具体例1-39の化合物	0.1 g		
比较例77	具体例1~16の化合物 0.	0.18	*	3
比较例78	具体例1-41の化合物	0.18	,	2
LENGING	具体的IV-9 の化合物 0.	. 18	*	
比较例的	具体例1V-8の化合物 0.	.18	ø	2
11429181	2- (P-Jahzzan) -4, 6- Ez (199ahzza) -5-19732 0	0.18	4.1	5.8
	具体例1-39の化合物 0.	.1.8		
LEXM82	2- (P-Tセチルフエニル) -4.6- ピス (トリクロルメチル) -S-トリTジン 0.	0.18	3.3	7.6
	具体例1-16の化合物 0.	.18		
比较例33	2, 4, 6-1 yx (1900 mx 7 m) -S-19702	0.18	3.0	ςς.
	具体例1-41の化合物 0.	0.18		
比较到8	2- (P-Johornen) -4, 6- Ex (1) 20 mx fm) -5-1 1 T 5 2 0.	0.18	国後できず	नात 0 0 9
	具体例1V-9の化合物 0.	0.18		

-53-

特開昭63-258903 (32)

BTTBとは、3、3′、4、4′ーテトラ (ビーブチルパーオキシルカルボニル) ペンゾフェノンであり、また、PBIFとはジー t ーブチルジパーオキシハイソフタレートである。

表1~3であきらかなように三元系開始剤は、 一元系、二元系に比べて高感度であることを示し ている。

表-4~6で明らかなように、三元系開始剤は、 一元系、二元系に比べて高感度であることを示し ている。

			EQ.	鰄
	光谱合黑站处	-	B-49 フィルター米 でのクリナー段製 (限)	A 7・7・14 米 7・0 数 取
比较例85 2-	2- (P-TtfwJx=w) -4, 6- xx (tygowyfw) -S-tyfyy 0.18	.18	関係に会す	
具体	具体例IV-9の化合物 0.	0.18		
HEE-18-	2, 4, 6-トリス (トリクロルメチル) -S-トリアジン 0.	0.18		,
具体的	具体例17-8の化合物 0.	0.18		
比較例87 具体0	具体例 1-39の化合物 0.	0.18		
具体8	具体例17-9の化合物 0.	0.18	•	•
LECTORS MAG	具体例1-16の化合物 0.	0.18		
具体0	具体例1V-9の化合物 0.	0.18		, ,
比蚊9989 具体的	具体例1-41の化合物 0.	0.18		
具体的	具体的IV-8の化合物 0.	0.18	*	*